

# エフゲニー・キーン

## ピアノ・リサイタル

2024年 **11月28日** **木**

開演 18:45 (開場 18:00)

愛知県芸術劇場コンサートホール

### Program

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第27番 ホ短調 Op.90

ショパン：ノクターン第14番 嬰へ短調 Op.48-2

ショパン：幻想曲 へ短調 Op.49

ブラームス：4つのバラード Op.10

プロコフィエフ：ピアノ・ソナタ 第2番 ニ短調 Op.14


EVGENY  
KISSIN  
Piano Recital

**席種・料金** S席 20,000円 A席 17,000円 B席 14,000円 C席 11,000円 D席 8,000円  
SS席 22,000円 U25席 3,000円 (全席指定・税込)

**一般発売** アイ・チケット ☎0570-00-5310 [clanago.com/i-ticket](https://t.pia.jp)  
チケットぴあ <https://t.pia.jp> (Pコード264-624)  
ローソンチケット <https://l-tike.com> (Lコード43396)

イープラス <https://eplus.jp>  
CBCチケットセンター <https://www.funity.jp/cbc-ticket/>

芸文プレイガイド ☎052-972-0430  
名鉄ホールチケットセンター ☎052-561-7755  
栄プレチケ92 ☎052-953-0777

 文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業





# キーシンが 3年ぶりにやってくる!



キーシンが3年ぶりに日本にやってくる。前回2021年の来日での成熟した名演は、彼が今や真の巨匠の域に達していることを感じさせるものだった。もう40年近く彼を聴き続け、特に15歳の初来日時の初々しい演奏がまだ忘れられない筆者にとって、神童キーシンから巨匠キーシンへの成熟と変貌は感慨深いものがある。

今の彼の音楽の特徴として、確固とした構築性とスケールの大きさ、その中での表現の徹底した彫琢が挙げられよう。神童時代の無垢な自然発露の演奏とは対極にあるともいえるが、外面的効果や曲を面白く作り上げることを一切排し、ひたすら作品の本質に迫ろうとする真摯な姿勢は、少年時から今日まで一貫している。ただかつては天性で作品の美質を感じ取って表現していたのに対し、年齢を重ねるにつれて知的かつ思索的に作品の本質を掘り下げるようになったといえるだろう。その過程で試行錯誤や迷いを窺わせた時期があったのも事実だ。しかしそうした壁にぶつかっても、決して効果を狙うような演奏に転じることなく、彼本来の姿勢を貫いてきたところに今のキーシンの成熟がある。

徒にレパートリーを広げず、ひとつひとつの作品の表現をとことん練り上げることを重んじるころにも、音楽に対する彼の取り組み方が現れている。演奏会のプログラムをひとつ決めたら一定期間そのプロだけに集中するのが彼のやり方だ。今回のプロも2月の欧州各国での演奏を皮切りに、5月には北米各地、6月以降は再び欧州各地で繰り返し演奏した後、日本に持ってくるという。それほど徹底ぶりがキーシンの身上であり、彼の演奏に強靱な意思と峻厳さが感じられるのはそれゆえだろう。

一方でキーシンはウクライナに侵攻した母国ロシアのプーチン政権を厳しく非難している。暗い色調の内省的な作品を中心とし、最後にプロコフィエフの激烈なソナタを置いた今回のプロに彼は果たしてどんな思いを託しているのか。それは演奏そのものが語ってくれよう。彼の奏でる音楽にじっくり耳を傾けたい。

寺西基之 (音楽評論家)

## Profile

### エフゲニー・キーシン (ピアノ) Evgeny Kissin, Piano

キーシンは、その音楽性、深く詩的な解釈、類稀な演奏技術により、当代の、そしておそらく歴代のピアニストの中でも、とりわけ才能に恵まれた者のみに相応しい尊敬と称賛を得てきた。彼は世界中で人気を博しており、これまでに、アバド、アシュケナーズ、バレンボイム、ドホナーニ、ジュリーニ、レヴァイン、マゼール、ムーティ、小澤征爾といった世界的指揮者やオーケストラと共演している。

1971年10月モスクワ生まれ。2歳の頃、耳で聴いた音楽の演奏や即興的な演奏を始めた。6歳でモスクワのグネーシン音楽学校に入り、現在に至るまで彼の唯一の教師であるアンナ・パヴロヴァ・カントールに師事。10歳で協奏曲デビューを果たし、その1年後には初のソロ・リサイタルをモスクワで行った。1984年3月、12歳のときに、キタエンコ指揮/モスクワ・フィルと共に、モスクワ音楽院大ホールでショパンの2曲のピアノ協奏曲を演奏し、世界的に注目されるようになった。

彼が国外に初めて登場したのは1985年の東ヨーロッパであり、翌年には初の日本ツアーを行った。1988年12月には、カラヤン指揮/ベルリン・フィルのジルバスター・コンサートで演奏し、1990年ロンドンのBBCプロムスに初出演。同年、北アメリカでもデビューし、メータ指揮/ニューヨーク・フィルとの共演や、カーネギー・ホールの百周年シーズンの開幕を飾る見事なデビュー・リサイタルを行った。

また彼は、世界中から音楽賞や記念賞を与えられている。1986年の最高の演奏として(これが日本での最初の演奏だった)大阪、ザ・シンフォニーホールのクリスタル賞、1991年にはシエナのギジアーナ音楽アカデミーから年間最優秀音楽賞を受賞。1995年には「ミュージカル・アメリカ」の器楽賞を最年少で受賞した。1997年、ロシア文化への傑出した貢献に対して、名誉ある凱旋賞 (Triumph Award) が与えられた。これは、ロシアで与えられる最高の文化的栄誉のひとつであり、ここでも彼は史上最年少の受賞者となった。その他にも、マンハッタン音楽大学から名誉音楽博士号、ロシアの音楽界における最高の栄誉の一つであるショスタコヴィチ賞、英国王立音楽院の名誉会員資格、そして直近では、香港大学から名誉博士号(人文科学系)を授与されている。

キーシンの録音は無数の賞を受賞しており、世界最高の演奏家が録音した名曲集に大きく貢献している。2002年にエコー・クラシック賞(年間最優秀ソリスト賞)、2006年と2010年にはグラミー賞(最優秀器楽ソリスト賞)、その他にもオランダのエディソン・クラシック賞、フランスのディアパゾン・ドール賞、ヌヴェル・アカデミー・デュ・ディスク賞グランプリなどを受賞している。

※U25はアイ・チケット(電話)のみの取扱いです。25歳以下で来場時に年齢確認します。※車椅子のお客様はご購入前にアイ・チケットまで必ずお問合せください。

※入場料金には消費税が含まれております。※やむを得ない事情でプログラム内容など変更になる場合がございますのでご了承ください。※未就学児のご入場は、ご同伴の場合でもお断りします。

主催 CBCテレビ

お問合せ

CBCテレビ 事業部 ☎ (052) 241-8118 (平日10時~18時)